

5月

Vol.101

そっとおとどけ

そっとおとどけは、司書によるミニ新聞です。
もっと本を好きになってもらえたら...という職員
の想いから生まれました。

イベント

5月

- 8日(火) 麦のこ 11:00-
(乳幼児向け おはなし会)
- 12日(土) ★ 土曜シアター 14:00-
(映画上映 『椿姫』118分)
- 20日(日) ♥ おもちや病院 10:00-14:00
(おもちゃの修理)
- 26日(土) ごくらとんぼ 14:00-
(おはなし会)
- 27日(日) 図書館職員おはなし会 14:00-
(おはなし会)

※★は小ホール、♥は図書館2F、
その他は図書館おはなしコーナーです。
参加は無料です。
(おもちゃ病院は、実費が必要な場合があります)



図書館のおやすみ

【5月】

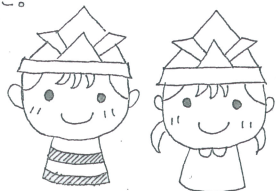
日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
27	28	29	30	31			

【6月】

日	月	火	水	木	金	土	
						1	2
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	

※ □ はお休み、太字 は17時閉館、○ は行事がある日です
(詳しくは職員にお尋ね下さい)

6月



- 9日(土) まほうの箱 11:00-
(おはなし会)
- ★ 土曜シアター 14:00-
(映画上映 『暗くなるまで待って』108分)
- 10日(日) ストーリーテリングの会 赤ずきん 11:00-
(おはなし会)
- 12日(火) 麦のこ 11:00-
(乳幼児向け おはなし会)
- ★ 16日(土) なのはな教室 14:00-
(ブラックパネルシアター)
- 23日(土) やまびこ会 14:00-
(おはなし会)
- 24日(日) 図書館職員おはなし会 14:00-
(おはなし会)

開館時間

火~土 10:00~19:00
日・祝 10:00~17:00

TEL

0947-25-2240

URL

<http://www.yumenity.jp/library/library.html>

直方市立図書館

図書館展示のご案内

<一般展示>

「Best Of Books 2011」

展示中 ~ 5/29(火)



2011年度、貸出回数が多かった上位50位までと、
予約件数の多かった本の上位50位までをランク付けし、
展示しています。

<児童展示>

「賞をとった こどもの本」

展示中 ~ 5/29(火)

こどもの本の賞(児童文学賞)は、日本や外国で
さまざまなものがあります。

展示コーナーでは、有名な賞と、その賞をとった本を紹介しています。



第6回 ヌメまつり開催

今年も、図書館とユメニテで“ユメまつり”を開催いたします。

■とき： 7月14日(土)・ 7月15日(日)

■ばしょ： ヌメニテのおがた および 直方市立図書館



図書館からは、おはなし会や点字体験、ポップアップカード作りやブックリサイクルなど、
楽しい催しを予定しております。

(ブックリサイクルでは、1冊10円より本の見返しをいたします!!)

お誘いあわせの上、ぜひご来場ください♪

今日のテーマ

冒険 アドベンチャー

探偵と怪人のいるホテル
芦辺 拓 著 // YFア

古風なホテルに招待された一人の男。彼は部屋で古びた紙片を発見する。それは「探偵」と「怪人」の対決を思わせる小説のページだった。続きを書いてやろうと意気込む彼の背後には、遺産を奪うため殺害計画をたてている三人の男女が…。少年や探偵の冒険が古風だけれど懐かしい、読み切り短編集。

トラヴェラー
ジョン・トウェルヴ・ホークス 著 // 933ト

時空を超える能力者「トラヴェラー」。その資質を持つ兄弟が、闇の組織から命を狙われる。トラヴェラーを守る単士の一族である美しい女性「マヤ」は兄弟を救うためにロンドンからアメリカへと向うことに。世界的ヒット作「グウィッチ・コード」のチームがはなつ、壮大なファンタジー!!

100年前の世界一周
ボリス・マルタン // 文
ワルデ「マール・アバグ」 // 写真・回想録

1905年、ドイツ人ワルデマール・アバグはカメラを手にアメリカ、日本、中国、インドなどを訪ねます。当時、ヨーロッパを周遊するドイツ人は79か国もの、アジアを巡る人は少なく、まさに「冒険」だったでしょう。彼が見た20世紀初頭の人々の生活が、117点の写真とともによみがえります。

どんな時でも食べぬく元氣術
— サバイバルクッキング —
坂本廣子 著 // まつもと きなこ 絵 K596サ
冒険は、つねに危険と隣り合わせだ! いや、そうではなく危険を感じないようでは冒険とは言えない。冒険をやりとげること、それは生き抜くこと。それには、食えること。腹がへってはいけません。どんな時でも食べぬけるの本を手に、さあ冒険に出かけよう!

糸岡渡りの男

モーティカイ・カーステン 著 // E933カ

背中がぞくぞくする。目がくらむ。高所恐怖症の人にはお薦めできません。今はないニューヨークの世界貿易センターのツインタワーで糸岡渡りをした男、フィリップ・プロティ。何のためにそんなことをするのか。「これまでの僕の人生は、この日のためにあったんだ。…なんて幸せで自由なんだろう。」と彼は言います。大人も楽しめる絵本です。

最後の冒険家

石川直紀 著 // 289.1カ

2008年1月31日に栃木県のとあるグラウンドから太平洋横断を目指し、熱気球「スーライト」号で飛び立ち2月1日に音信が途絶え行方不明となった冒険家の神田道夫氏。そんな神田氏と熱気球で冒険をしたことのある石川直紀氏が記す、神田氏との出会いから始まる冒険エピソード。

はじめてのおつかい

筒井頼子 著 // E913ツ

みいちゃんはママに牛乳をかってきてたのまれました。はじめてのおつかいです。さて、だいじょうぶかな? 5さいの女の子の「おつかい」はハラハラ、ドキドキがいっぱい! 冒険のようです。大人になって読み返すと、いじがきゅと掴まれて、あのTV番組のテーマソングが流れます。

可笑しいホテル
バティナコバレブス 著 // 526.6コ

寝床も照明器具もテーブル椅子。ベッドまで「米」でできたアイスホテル。芝生の上ニベッドが置かれた庭ベッドに泊まれるペンション。海外の不思議で可笑しいホテルを紹介してくれるこの本。この本を使えば、「方に」て、ホテルに泊まる「こと」が、ものすごい冒険になりそう!?

木いちごの王さま
サカリアス・トバリス 著 // K949ト

木いちごの王さまが、100年に1回だけ虫にさされてしまう日。小さな姉妹テッサとアイサは、偶然その虫を見つけ無邪気な弟やすずめから虫を見かけます。その後、森へ入って迷子になったおたりに次々と不思議なことが。最後はほんわか、にっこりとなります。

ももこの世界あちこちめぐり
さくらももこ 著 // 290.9サ

さくらももこが世界中を冒険! ずっと昔から憧れていたスペインを皮切りにバリ島、アメリカ西海岸、ラスベガス、ベニス、パリなど6か国17ヵ所を旅します。イラストや美しい写真が満載で、今から旅立ち、自分の目で確かめてみたくなる豪華旅行エッセイです。

ワリムとドリムの
お菓子を通る冒険

吉田菊次郎 編・著 // 596.6吉

レトロな時代も、人々を魅了し続けるスイーツの世界。なぜドーナツは穴があるのか? などの素朴な疑問や、ムースとフランス政府の意外な関係など、歴史的背景とともに世界各国のスイーツをご紹介します。当時の人々の知恵や繊細な技術も興味深く読後、幸せな気持ちになります。